

統一行政システムのデザイン

— 子供や孫の世代がハッピーになるために今やるべきこと —



<主な内容>

- ・ 初期費用に7000億円をかけ、2026年3月を目標に実施していた自治体情報システム標準化の現状
- ・ 行政のシステムを仕組みとしてとらえたとき、国民にとって不便なことと行政にとって非効率なこと
- ・ 講師が描く行政システムのデザインのたたき台
- ・ 講師が提唱する行政統一システムと住基ネット判例の関係
- ・ 行政統一システムにおけるベンダーロックイン回避方法

2026年 9 月 11 日 金

時間 18:30~20:30 講演会 (30分前受付開始)

参加費 賛助会員 5名様迄無料、6名以降は正会員と同じ
/正会員1,000円/学生 無料/一般 (非会員) 2,000円定員 対面 先着40名 (要事前申込)
オンライン100名 お申込フォーム →会場 ふれあい貸し会議室 品川ステーションビル No100
〒108-0074 東京都港区高輪4-23-5 品川ステーションビル5階 A号申込 右のQRコードを読み込み、WEBフォームよりお申込みのうえ、
参加費をお振込みください。
お申込フォームURL: <https://forms.gle/TD5NLbjPNhFjQhJW8>

お申込締切: 2026年9月4日(金) 17:00

振込先 三菱UFJ銀行 市ヶ谷支店 普通預金 0087521 (シャ) ジョウホシステムガッカイ
みずほ銀行 九段支店 普通預金 1714392 (シャ) ジョウホシステムガッカイ
ゆうちょ銀行 〇一九支店 当座預金 0300365 (シャ) ジョウホシステムガッカイ

講師



IWASAKI Kazutaka

岩崎 和隆 氏

神奈川県職員、
情報システム学会 常務理事・
官公庁 4.0 研究会主査 (代表)

神奈川県庁にて主にデジタル関係の職務に従事。公務外で情報政策研究を行っており、主な研究テーマは、デジタル時代の行政のあり方、行政のシステム調達。情報システム学会、日本行政学会、日本公共政策学会で研究発表多数。日経クロステックにたびたび寄稿。2019年から情報システム学会メールマガジンに「発注者からみた官公庁情報システムの現状と課題」を毎月連載。